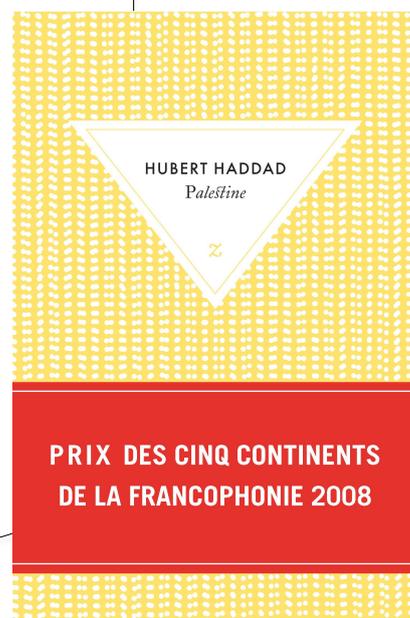


フランコフォニー祭

講演者紹介

ユベール・アダッドは、チュニジア出身のフランス語作家。これまで小説のみならず、演劇、詩、評論など多方面にわたる著作を数多く世に出してきました。なかでも、記憶を失ったイスラエル兵がアラブ人たちと生活を共にすることでたどる数奇な運命を描いた『パレスティナ』（2007年、フランコフォニー五大陸賞受賞）や、震災後の現代日本を古風なまでに静かに描き出した『扇絵師』（2013年、ビブリオブログ賞受賞）などが知られています。これら多彩なテーマを扱う彼の作品に共通しているのは、異なる文化や他者への眼差し、そして戦争やカタストロフィーを包み込むように繰り広げられる詩的な描写です。

今回は、フランス語圏の多様な魅力を紹介するフェスティバル「フランコフォニー祭」の一環としてユベール・アダッドを関西学院大学に迎え、その創造力の源泉について語ってまいります。



日時：2016年4月15日（金）

16：50～18：20

場所：関西学院大学上ヶ原キャンパス文学部新館大会議室

講演言語：フランス語（通訳あり）

入場無料・予約不要

問い合わせ：関西学院大学 文学部

TEL 0798-54-6201